

# とうきょう すくわくプログラム③



(第5回目)

【活動内容】『光と影』

前回行った光の取り組みでは“影”がある事を発見したこともあったので、今回は懐中電灯を当てるとどうなる？という実験を行いました。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

- ・懐中電灯（タッチライト含む）・カラーフィルム

【子ども達の姿と発見】

懐中電灯を使う事で、タッチライトよりもさらに光が強くなる事に気が付き、光を当てる場所によっては、影の大きさが変わることを発見することが出来ました。

その後には、カラーフィルムを懐中電灯に貼ってみると虹色に光って、部屋中がカラフルになり、「おもしろい」「きれい」と夢中になっている姿も見られました。

探求していくうちに「外で見る太陽の光から出来る影と暗い所でみる影は、何がちがうのかな？」と疑問を持つ子もいました。



(第6回目)

【活動内容】『自分達で、劇遊びを作る』

12月にある「おたのしみ会」に向けて自分たちで劇：エルマーのぼうげんの話の構成や、衣装作り、演出等を決めていく事になりました。演出の場面ではカラーポリ袋と懐中電灯を使ってサイの“なきベソプール”や“ワニの川”等、子ども達の意見や想像を形にしながら表現活動を行う事になりました。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

- ・懐中電灯・カラーポリ袋・段ボール・画用紙・のり
- ・はさみ・絵の具・テープ・折り紙・模造紙

【子ども達の姿と発見】

なきベソプールに見えるように室内を暗くする事で、「本当になきベソプールみたいになった」「ワニが本当に川を泳いでいるように見える」等、それぞれの発見がありました。

